

問題点整理小委員会「まとめ」の構成案

1 はじめに

- 問題点整理小委員会の設置目的
- 今期審議の経緯 等

2 今後検討が必要な課題について

(1) 基本的な考え方

ア) 国語施策の立場

→基本的な性格

- ・一般の社会生活を対象とし、個人や専門分野は対象外
- ・「制限」でなく、「目安・よりどころ」
- ・社会で必要とされる「目安・よりどころ」の作成

→これまでの答申等の性格（3類型）

- ・「常用漢字表」型、「敬語の指針」型、「国語力答申」型

イ) 「分かりやすさ」の必要性

→音声言語・文字言語，分野を問わず，国語施策の基本としてこれまで以上に重視していくことが必要

(2) 具体的な検討課題

ア) 「公用文作成の要領」の見直しについて

→公用文表記の在り方（「分かりやすさ」が基本）

→見直しの範囲（今後，更に検討が必要）

→「一般の文書作成」との関係（参考になるもの）

イ) 言葉遣い・コミュニケーションの在り方について

→求められるコミュニケーション能力

- ・二つのコミュニケーション能力の必要性（場面との関係）
- ・国際化・情報化との関係
 - *外国人への対応，対面コミュニケーション力の問題
- ・国語施策として取り組む範囲（今後，更に検討が必要）
 - *答申「敬語の指針」のQ&Aの拡充

→望ましい言葉遣いのイメージ

- ・「平明・的確・美しく・豊か」と「分かりやすさ」

ウ) その他

- ① 常用漢字表の手当てについて
- ② 情報化・国際化について
- ③ 国語の教育・研究について
- ④ その他

付 「これまでの議論で指摘された検討課題（Ver.5+α）」